

| | | | |
|--|--|------|---|
| 講義名 | 教育実習【教職に関する科目】 | | |
| 科目区分 | 教職に関する科目 | | |
| 担当教員 | 池田 瞳子 / 西尾 範博 / 水田 聖一 | | |
| 開講期・曜日・時限 | 前期 水曜日 2時限 | 授業形態 | |
| 履修開始年次 | 4年生 | 単位数 | 3 |
| 備考 | 2017年度 人間社会学部 人間健康学科 スポーツ健康コース / 2017年度 人間社会学部 人間健康学科 健康マネジメントコース / 2017年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2017年度 人間社会学部 観光学科 ホテル・ブライダルコース / 2017年度 人間社会学部 観光学科 観光事業コース / 2017年度 人間社会学部 観光学科 / | | |
| 主題と概要 | | | |
| 教職必修科目 教育実習事前指導、教育実習指導、教育実習教育実習事後指導から構成される。 | | | |
| 到達目標 | | | |
| 教育実習生としてふさわしい力量と人格形成 1. 教員としての使命感や責任感、教育的愛情 2. 社会性や対人関係能力 3. 生徒理解や学校経営に関する力量 4. 教科内容に関する力量 | | | |
| 提出課題 | | | |
| レポート、指導案、模擬授業、実習後の報告会のためのパワーポイント作成 | | | |
| 課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック | | | |
| 模擬授業後コメントと改善点を指導する。 | | | |
| 評価の基準 | | | |
| レポート、模擬授業、報告会での発表(20%)、実習校での評価(80%)を総合的に判断します。 | | | |
| 履修にあたっての注意・助言他 | | | |
| 皆出席を前提とします。 | | | |

| | | | | |
|--|--|-----|------|---------------|
| 教科書 | | | | |
| .ベストを尽くす教育実習. | 筒井美紀他 | 有斐閣 | 2000 | 9784641174320 |
| プリント資料及び参考文献 | | | | |
| 適宜配布する。 | | | | |
| 授業計画 | | | | |
| 1. 教育実習の意義と課題 2. 最近の生徒の理解と指導 3. 学校の教育課程編成の工夫 4. 授業観察の視点 5. 授業づくりの方法 6. 指導案に基づく模擬授業 7. 教科外指導の観察・参加、実習ノートの使い方 8. 事後学習と研究レポート、模擬授業 9. 学校の運営、教職員 10. 教職実践演習について、模擬授業 11. 教育実習(2週間) 12. 事後指導 実習の反省・まとめ 13. 事後指導 まとめに基づくパワーポイントづくり 14. 事後指導 パワーポイント作成仕上げ 15. 事後指導 教育実習報告会(2コマ) | | | | |
| 授業形態（アクティブ・ラーニング） | | | | |
| ア | PBL（課題解決型学習） | | | |
| イ | 反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態） | | | |
| ウ | ディスカッション、ディベート | | | |
| エ | グループワーク | | | |
| オ | プレゼンテーション | | | |
| カ | 実習、フィールドワーク | | | |
| 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間 | | | | |
| 事前の指導に備えて、指導案の作成、模擬授業ができる様によく準備すること。 実習後は、実習校で学んだ事柄をまとめ、報告会で発表すること。 | | | | |
| 双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述 | | | | |
| | | | | |
| 実務経験の有無及び活用 | | | | |
| | | | | |
| 備考 | | | | |
| 3年生後期から開始し、4年生夏休みまで。 | | | | |